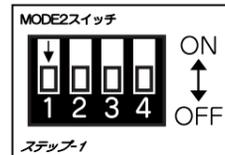


ターボタイマーの設定/解除

ターボタイマー機能を使用する場合に設定します。ご購入時は、ターボタイマー解除(MODE2スイッチOFF)となっています。

メモ ターボタイマー使用中でも、警戒ON操作ができます。アイドル中に働くセンサーは、ドアスイッチセンサーとセンサーレベル1商品(別売)のみです。アイドル停止後に停止していたセンサーが警戒を開始します。

ステップ 1 本体のMODE2スイッチメニュー1「EGS/パワースイッチ」をOFFにします。



ステップ 2 本体のMODE2スイッチメニュー4「ターボタイマー」を設定します。

ターボタイマー設定

ターボタイマー解除

スイッチ4を「ON」にします。

スイッチ4を「OFF」にします。

ステップ 3 本体のMODE2スイッチメニュー1「EGS/パワースイッチ」をONにします。



以上でターボタイマーの設定/解除は、終了です。

ターボタイマーを動作させる

ターボタイマー機能は、フルオート方式を採用しています。アフターアイドルの時間は、車の走行状況に合わせて自動的に設定されます。動作の確認は、下記手順にしたがい行ってください。

ステップ 1 エンジンキーまたはリモコンで、エンジンを始動します。

ステップ 2 走行します。

30秒以上走行しないと、ターボタイマーは作動しません。

ステップ 3 走行終了後シフトレバーをPレンジにし、エンジンキーをOFFにします。

注意 ターボタイマーによるアイドル中には、エアコン(ヒーター)以外のスイッチをOFFにしてください。リヤ熱線や大容量オーディオ等を併用すると、本品のヒューズが切れることがあります。

注意 必ずパーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPレンジの位置にしてください。

メモ ・ターボタイマー動作中にエンジンキーが抜けられない車があります。このような車は、別売の「日産キーロックアダプター」を使用してください。
・正常にターボタイマーが作動しない車があります。このような車は、別売の「ターボタイマーストール防止アダプター」を使用してください。
・ターボタイマーのアイドル時間は30秒~5分の範囲で自動的に設定されます。
・本品リモコンの液晶画面にターボタイマー動作中は「T」が点灯します。ターボタイマーが停止したことをリモコンの音で確認できません。液晶画面での確認となります。

ターボタイマー動作が開始すると、エンジンスターターユニットから「プッププッ」というカウントダウン音が鳴り始めます。カウントダウン音は、残り時間に連動して徐々に短くなり、停止直前で連続音へと変わります。

ターボタイマーを停止させる

リモコン操作で、アフターアイドルを途中で停止することができます。46ページの「エンジンを停止する」操作を行ってください。

ステップ 1 リモコンで警報機を動作させます。

「警戒ステージ1_警戒モードA」の警戒パターンで警報機を動作させてください。

ステップ 2 アンテナユニットの赤色LEDが点滅を開始してから、どの位の振動でセンサーが感知するか確認してください。

注意 動作確認で車へ振動を与える場合、強く叩きすぎてケガをしないように気をつけてください。またガラスやボディ等が、破損しないように充分注意してください。万一破損等が発生しても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

メモ 一旦センサーが感知すると、その後約5秒間は感知しません。

大振動センサー感知の場合

小振動センサー感知の場合



注意警報時(5秒警報)



威嚇警報時(1秒警報)

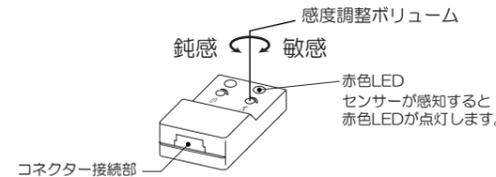
ステップ 3 振動センサーの感度を調整します。

大振動と小振動の感度調整ボリュームを付属の感度調整ドライバーを使用し、希望する感度に調整してください。

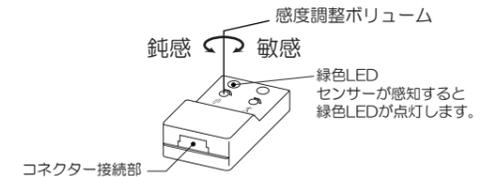
注意 感度調整ボリュームは、力を入れず軽く回してください。無理に回すと破損します。

【大振動センサー感度調整】

【小振動センサー感度調整】



時計回り	感度が「敏感」になります。
反時計回り	感度が「鈍感」になります。



時計回り	感度が「敏感」になります。
反時計回り	感度が「鈍感」になります。

メモ ・大振動を感知した場合は、振動センサーの赤色LEDと一緒に緑色LEDも点灯します。
・本品の振動センサーは、主に窓ガラスを割られた際に発生する衝撃に対して感知させることを想定しております。車両によってボディを軽く叩く程度の衝撃にも感知させることができますが、その場合は、犯人に対する威嚇効果を高められる反面、付近を車が通過したときなどに発生する外乱振動でも感知する可能性が高くなります。住宅密集地等の警報音が近所迷惑となるような場所では、適切と思われる感度に調整してお使いください。

小振動感度調整推奨例

小振動センサーの感度は、警戒パターン「警戒ステージ1_警戒モードA」の状態でも運転席または助手席側のガラスを強めに叩いたときに、威嚇警報(1秒警報)で警報するように感度調整してください。

調整上の注意

・振動センサーの感度を上記のように調整していただくことで、外乱振動による誤動作を大幅に軽減することができますが、下記のような状況下では、警報してしまう場合があります。

1. 強風・豪雨・雷雨・台風等の気象条件の場合。
2. 地震が起きた場合。
3. 線路付近・幹線道路沿い・工事現場付近・飛行場付近等の振動が発生する場所。

・振動センサーの感度は、車両の大きさやボディ剛性によって異なります。特にRV車や1BOX車等の大型車は、リヤガラス等の車両後部に加えられた衝撃に対して感知できない場合があります。

ステップ 4 希望する感度に調整できたら、警報機を停止(警戒OFF)してください。

以上で振動センサーの感度調整は、終了です。